

# I. 結果の概要

この概要は、平成24年5月1日現在で実施された学校基本調査のうち、奈良県内の学校（文部科学省が直接調査する大学、短期大学、高等専門学校を除く）について、学校教育に関する基本的事項である学校数、在学者数、教職員数、卒業者数を取りまとめたものです。

## [1] 学校調査

### 1. 幼稚園 — 園児数の減少傾向続く 3歳児も増加から減少へ転じる —

#### (1) 園数 「表1」

園数は203園（国立2園、公立158園、私立43園）で、前年度より公立1園が減少した。

#### (2) 園児数 「表1～2、図1～3、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

園児数は、17,775人（男8,762人、女9,013人）で、前年度より309人（△1.7%）減少した。園児数のピークは、昭和54年度の32,032人であり、平成15年度以降は減少が続いている。

年齢別にみると、4歳児が6,670人で91人（△1.3%）減少、5歳児が6,907人で27人（△0.4%）減少した。3歳児は平成22～23年度は増加していたが、本年度は4,198人と前年度より191人（△4.4%）減少し、全園児数に占める割合も23.6%と全国値（27.6%）に比べて低く、前年度より、0.7ポイント低下した。

設置者別園児数は、国立が291人（構成比1.6%）で前年度より2人減少、公立が11,347人（同63.8%）で267人減少、私立が6,137人（同34.5%）で40人減少した。公立が占める割合は全国値（17.7%）と比べるときわめて高いことが本県の特徴である。

また、3歳児の占める割合は私立で30.9%と高くなっている。公立は19.8%と低いが、全国値（15.3%）を上回っている。

新規（本年度）入園者数は6,703人（男3,270人、女3,433人）で、前年度より365人（△5.2%）減少した。入園者数を年齢別にみると、3歳児は4,020人、4歳児は2,437人、5歳児は246人であった。この10年は、4歳児入園が年々減少する一方、3歳児入園はほぼ横ばいで推移している。

#### (3) 教員数（本務者） 「表1」

教員数（本務者）は1,463人（男40人、女1,423人）で、前年度より13人増加した。

教員数（本務者）のうち、女性教員の占める割合は97.3%で、前年度より0.3ポイント上昇した。本務教員1人当たりの園児数は12.1人（全国値14.5人）で、前年度より0.4人減少した。

#### (4) 修了者数 「図4、統計表〔2〕幼稚園」

修了者数は6,960人で前年度より241人（△3.3%）減少した。

就園率（本年度の小学校第1学年児童数に占める本年3月の幼稚園修了者の比率）は59.4%（全国値55.1%）であり、前年度より0.4ポイント減少した。

表1. 園数・園児数（設置者別）・教員数

区分	園数				園児数						教員数（本務者）		
	計 (校)	設置者別			計 (人)	男 (人)	女 (人)	設置者別			計 (人)	男 (人)	女 (人)
		国立 (校)	公立 (校)	私立 (校)				国立 (人)	公立 (人)	私立 (人)			
平成14年度	211	2	170	39	21,926	11,242	10,684	308	14,691	6,927	1,539	34	1,505
平成19年度	205	2	164	39	19,792	10,108	9,684	302	13,090	6,400	1,480	43	1,437
平成20年度	205	2	162	41	19,305	9,878	9,427	297	12,710	6,298	1,478	42	1,436
平成21年度	203	2	160	41	18,636	9,507	9,129	298	12,241	6,097	1,467	45	1,422
平成22年度	205	2	160	43	18,273	9,230	9,043	296	11,854	6,123	1,488	45	1,443
平成23年度	204	2	159	43	18,084	9,062	9,022	293	11,614	6,177	1,450	44	1,406
<b>平成24年度</b>	<b>203</b>	<b>2</b>	<b>158</b>	<b>43</b>	<b>17,775</b>	<b>8,762</b>	<b>9,013</b>	<b>291</b>	<b>11,347</b>	<b>6,137</b>	<b>1,463</b>	<b>40</b>	<b>1,423</b>

表2. 年齢別園児数・新規（本年度）入園者数

区分	入園者数 (本年度入園)	3歳児			4歳児			5歳児			
		計	前年度間 入園	本年度 入園	計	3歳児 入園	4歳児 (本年度) 入園	計	3歳児 入園	4歳児 入園	5歳児 (本年度) 入園
平成14年度	9,587	4,142	36	4,106	8,812	3,636	5,176	8,972	3,085	5,582	305
平成19年度	7,939	4,161	127	4,034	7,649	4,023	3,626	7,982	3,944	3,759	279
平成20年度	7,680	4,199	104	4,095	7,302	3,985	3,317	7,804	3,928	3,608	268
平成21年度	7,402	4,167	99	4,068	7,028	3,987	3,041	7,441	3,881	3,267	293
平成22年度	7,233	4,313	109	4,204	6,805	4,027	2,778	7,155	3,913	2,991	251
平成23年度	7,068	4,389	165	4,224	6,761	4,120	2,641	6,934	3,887	2,844	203
<b>平成24年度</b>	<b>6,703</b>	<b>4,198</b>	<b>178</b>	<b>4,020</b>	<b>6,670</b>	<b>4,233</b>	<b>2,437</b>	<b>6,907</b>	<b>4,002</b>	<b>2,659</b>	<b>246</b>

図1. 設置者別園児数の構成比率  
(全国との比較)

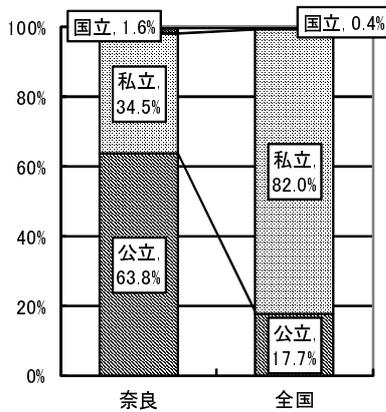


図2. 設置者別の年齢別園児数の構成比率  
(全国との比較)

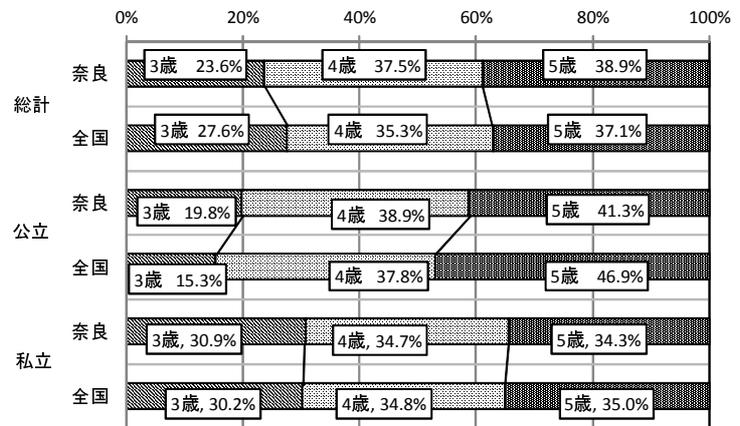


図3. 年齢別新規入園者数の推移

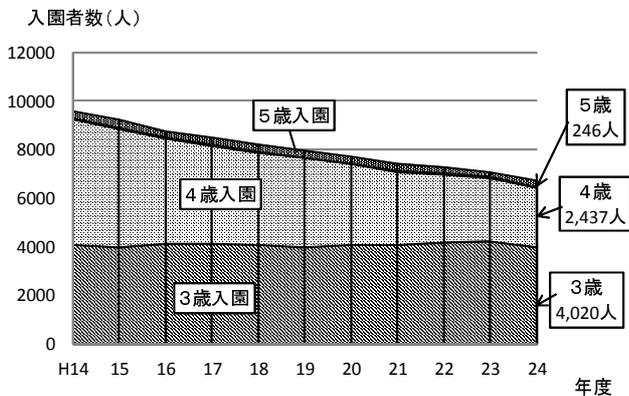
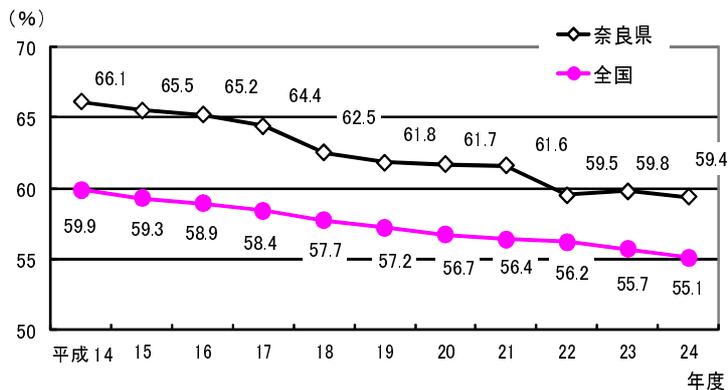


図4. 就園率（小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の比率）の推移（全国との比較）



## 2. 小学校 ー児童数の減少は続く 不登校児童数は増加ー

### (1) 学校数 「表3」

学校数は219校（国立2校、公立211校、私立6校）で、前年度と変わらなかった。

### (2) 学級数 「表3」

学級数は3,426学級（単式学級2,775学級、複式学級13学級、特別支援学級638学級）で、前年度より14学級減少した。種別では、複式が2学級、特別支援が13学級増加したのに対し、単式は29学級減少した。

### (3) 児童数 「表3、図5、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

児童数は75,458人（男38,783人、女36,675人）で、前年度より1,826人（△2.4%）減少した。なお、児童数のピークは昭和57年度の133,167人であり、その後減少が続いている。

1学級当たりの児童数は22.0人で前年度より0.5人減少した。全国値（24.6人）と比べても、少なく、この10年は年々減少の傾向にある。

平成23年度間の帰国児童は44人で、平成22年度間より8人減少した。

外国人児童数は175人で、前年度より22人減少した。全児童数のうち、外国人児童の占める割合は0.2%で、前年度より0.1ポイント低下した。

### (4) 教員数（本務者） 「表3、図5、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

教員数（本務者）は4,936人（男1,935人、女3,001人）で、前年度より18人減少した。

教員数（本務者）のうち、女性教員の占める割合は60.8%で、前年度より0.3ポイント低下した。

昭和58年度の5,782人をピークに教員数（本務者）は減少しているが、この10年は横ばい傾向にある。

本務教員1人当たりの児童数は15.3人（全国値16.2人）で、前年度より0.3人減少し、年々減少傾向にある。

### (5) 長期欠席者数 「表4、図6」

長期欠席児童（平成23年度間に30日以上欠席した児童）数は640人で、前年度間より10人増加した。

理由別では、不登校316人（構成比49.4%）、病気216人（同33.8%）、であった。全児童数に占める不登校者の割合は0.41%で、平成22年度間より0.05ポイント上昇し、全国値（0.33%）より高い数値である。

表3. 学校数・学級数・児童数 教員数（本務者）

区 分	学 校 数				計 (学級)	学 級 数			児 童 数			教 員 数（本務者）			
	計 (校)	設置者別				計 (学級)	編制方式別			計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)
		国立 (校)	公立 (校)	私立 (校)			単式 (学級)	複式 (学級)	特別支援 (学級)						
平成14年度	263	2	258	3	3,453	2,887	16	550	84,509	43,172	41,337	5,032	1,806	3,226	
平成19年度	225	2	219	4	3,396	2,791	21	584	81,168	41,601	39,567	4,878	1,788	3,090	
平成20年度	224	2	217	5	3,417	2,804	25	588	80,551	41,285	39,266	4,927	1,834	3,093	
平成21年度	223	2	216	5	3,416	2,798	23	595	79,588	40,743	38,845	4,928	1,870	3,058	
平成22年度	220	2	212	6	3,429	2,797	22	610	78,963	40,557	38,406	4,952	1,916	3,036	
平成23年度	219	2	211	6	3,440	2,804	11	625	77,284	39,714	37,570	4,954	1,925	3,029	
<b>平成24年度</b>	<b>219</b>	<b>2</b>	<b>211</b>	<b>6</b>	<b>3,426</b>	<b>2,775</b>	<b>13</b>	<b>638</b>	<b>75,458</b>	<b>38,783</b>	<b>36,675</b>	<b>4,936</b>	<b>1,935</b>	<b>3,001</b>	

図5. 1学級当たりの児童数と本務教員1人当たりの児童数（全国との比較）

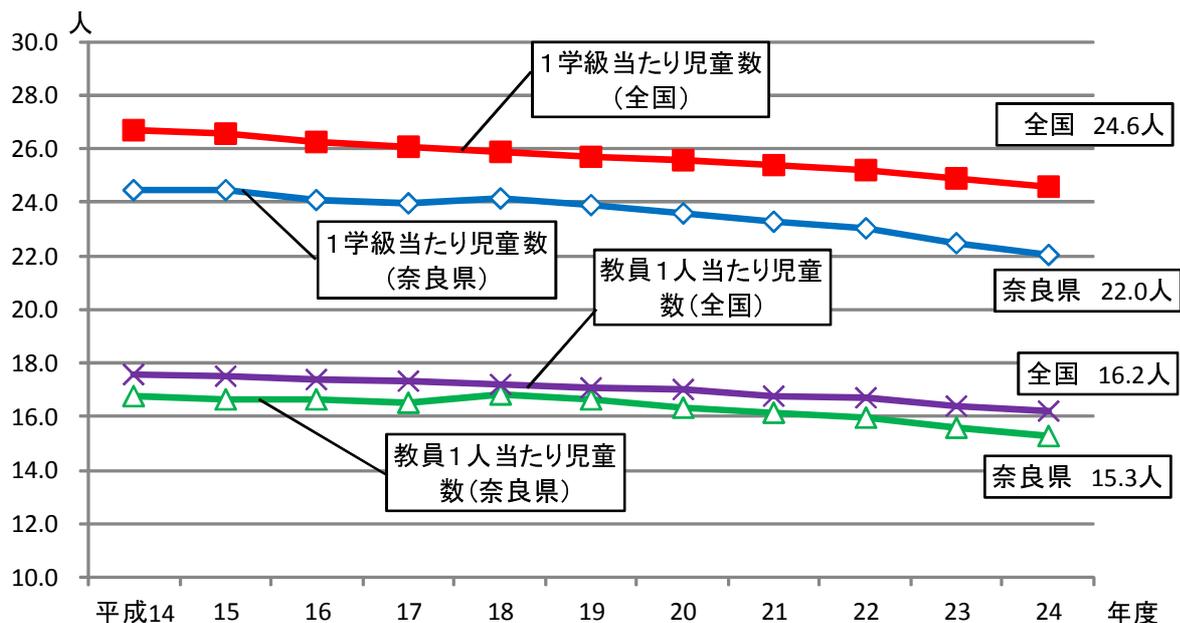
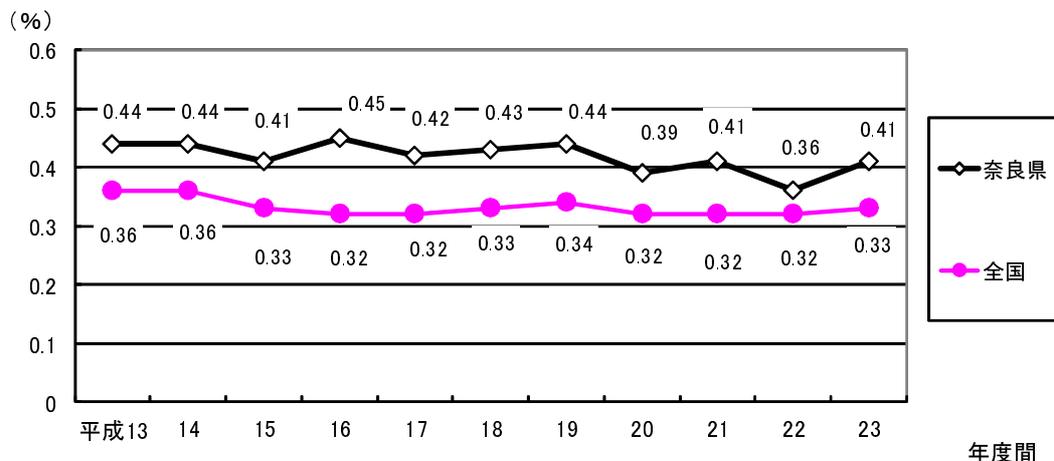


表4. 理由別長期欠席児童数（年間30日以上）

区分	理由別長期欠席児童数（30日以上）								
	計 (人)	病気		経済的 理由		不登校		その他	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
平成13年度間	1,111	617	(55.5)	-	-	372	(33.5)	122	(11.0)
平成18年度間	882	356	(40.4)	1	(0.1)	351	(39.8)	174	(19.7)
平成19年度間	875	379	(43.3)	-	-	355	(40.6)	141	(16.1)
平成20年度間	778	340	(43.7)	1	(0.1)	316	(40.6)	121	(15.6)
平成21年度間	708	266	(37.6)	2	(0.3)	330	(46.6)	110	(15.5)
平成22年度間	630	239	(37.9)	-	-	286	(45.4)	105	(16.7)
<b>平成23年度間</b>	<b>640</b>	<b>216</b>	<b>(33.8)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>316</b>	<b>(49.4)</b>	<b>108</b>	<b>(16.9)</b>

図6. 児童数に占める「不登校者」の比率の推移（全国との比較）



※ 「不登校者の比率」： $\frac{\text{各年度間の不登校者数}}{\text{各年5月1日現在児童数}} \times 100$

### 3. 中学校 ー生徒数は横ばい 不登校生徒数は減少ー

#### (1) 学校数 「表5」

学校数は117校（国立1校、公立105校、私立11校）で、前年度より公立3校が減少した。

#### (2) 学級数 「表5」

学級数は1,510学級（単式学級1,253学級、特別支援学級257学級）で、前年度より4学級増加した。種別では、特別支援が10学級増加したのに対し、単式は6学級減少した。

#### (3) 生徒数 「表5、図7、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

生徒数は41,693人（男21,624人、女20,069人）で、前年度より11人（0.03%）増加した。なお、生徒数のピークは昭和62年度の70,256人であり、その後減少したが、ここ10年ほどはほぼ横ばいで推移している。

1学級当たりの生徒数は27.6人で前年度より0.1人減少した。全国値（29.0人）と比べても少なく、この10年間は年々減少の傾向にある。

平成23年度間の帰国生徒は13人で、平成22年度間より2人減少した。

外国人生徒数は251人で、前年度より10人減少した。全生徒数のうち、外国人生徒の占める割合は0.6%で、前年度と変わらなかった。

#### (4) 教員数（本務者） 「表5、図7、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

教員数（本務者）は3,050人（男1,852人、女1,198人）で、前年度より15人減少した。

教員数（本務者）のうち、女性教員の占める割合は39.3%で、前年度より0.1ポイント低下した。

平成3年度の3,593人をピークに教員数（本務者）は減少しているが、この10年間は横ばい傾向である。

本務教員1人当たりの生徒数は13.7人（全国値14.0人）で、前年度より0.1人増加した。

#### (5) 長期欠席者数 「表6、図8」

長期欠席生徒（平成23年度間に30日以上欠席した生徒 中等教育学校前期課程は含まない数値。）数は1,585人で、前年度間より93人減少した。

理由別では、不登校1,211人（構成比76.4%）、病気174人（同11.0%）、であった。全生徒数に占める不登校者の割合は2.91%で、平成22年度間より0.2ポイント低下したが、全国値（2.65%）より高い数値である。

表5. 学校数・学級数・生徒数・教員数（本務者）

区分	学校数				計 (学級)	学級数			生徒数			教員数（本務者）			
	計 (校)	設置者別				計 (学級)	編制方式別			計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)
		国立 (校)	公立 (校)	私立 (校)			単式 (学級)	複式 (学級)	特別支援 (学級)						
平成14年度	119	1	108	10	1,520	1,328	-	192	45,703	23,863	21,840	3,060	1,882	1,178	
平成19年度	118	1	107	10	1,481	1,252	-	229	42,197	21,763	20,434	2,994	1,860	1,134	
平成20年度	119	1	107	11	1,486	1,255	-	231	41,879	21,609	20,270	3,005	1,837	1,168	
平成21年度	119	1	107	11	1,504	1,260	-	244	41,878	21,627	20,251	3,023	1,844	1,179	
平成22年度	119	1	107	11	1,501	1,255	-	246	41,546	21,626	19,920	3,041	1,846	1,195	
平成23年度	120	1	108	11	1,506	1,259	-	247	41,682	21,656	20,026	3,065	1,856	1,209	
<b>平成24年度</b>	<b>117</b>	<b>1</b>	<b>105</b>	<b>11</b>	<b>1,510</b>	<b>1,253</b>	<b>-</b>	<b>257</b>	<b>41,693</b>	<b>21,624</b>	<b>20,069</b>	<b>3,050</b>	<b>1,852</b>	<b>1,198</b>	

図7. 1学級当たりの生徒数と本務教員1人当たりの生徒数（全国との比較）

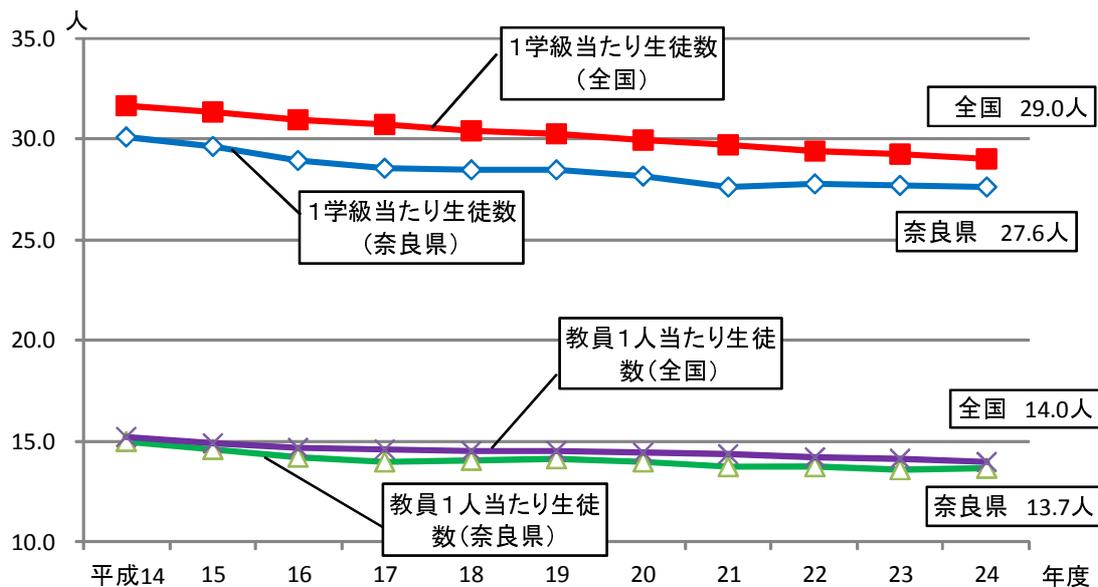
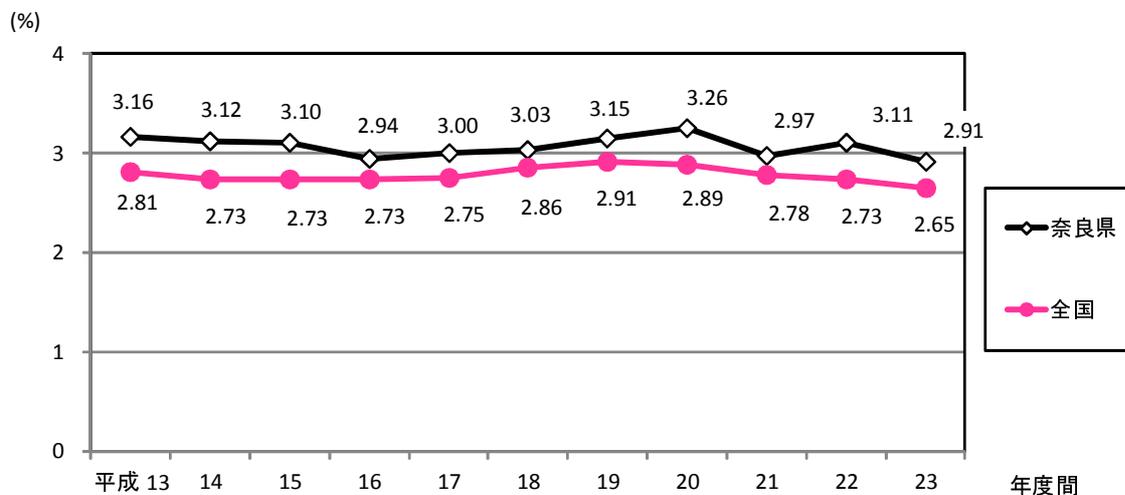


表6. 理由別長期欠席生徒数（年間30日以上）

区分	計 (人)	病気		経済的理由		不登校		その他	
		(人)	(構成比) (%)	(人)	(構成比) (%)	(人)	(構成比) (%)	(人)	(構成比) (%)
平成13年度間	2,295	326	(14.2)	6	(0.3)	1,508	(65.7)	455	(19.8)
平成18年度間	1,900	277	(14.6)	2	(0.1)	1,271	(66.9)	350	(18.4)
平成19年度間	1,909	231	(12.1)	1	(0.1)	1,328	(69.6)	349	(18.3)
平成20年度間	1,772	211	(11.9)	1	(0.1)	1,367	(77.1)	193	(10.9)
平成21年度間	1,631	189	(11.6)	2	(0.1)	1,243	(76.2)	197	(12.1)
平成22年度間	1,678	188	(11.2)	1	(0.1)	1,294	(77.1)	195	(11.6)
<b>平成23年度間</b>	<b>1,585</b>	<b>174</b>	<b>(11.0)</b>	-	-	<b>1,211</b>	<b>(76.4)</b>	<b>200</b>	<b>(12.6)</b>

図8. 生徒数に占める「不登校者」の比率の推移（全国との比較）



※「不登校者の比率」： $\frac{\text{各年度間の不登校者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$

## 4. 高等学校

### A. 全日制課程・定時制課程 ー前年度より入学者は微増・生徒数総計は減少ー

#### (1) 学校数 「表7」

学校数は53校（公立37校、私立16校）で、前年度と変わらなかった。  
課程別では、全日制課程のみを置く学校が46校、定時制課程のみを置く学校が3校、全日制・定時制の両課程を併設している学校が4校であった。

#### (2) 生徒数 「表7～9、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

生徒数は37,866人（男19,228人、女18,638人）で、前年度より37人（△0.1%）減少した。  
課程別生徒数は、全日制36,549人、定時制1,317人であった。全日制課程の生徒の占める割合は96.5%であり、前年度より0.1ポイント上昇した。なお、生徒数のピークは平成2年度の60,678人でその後は減少し、平成19年度以降は横ばい傾向である。

学科別生徒数は全日制・定時制合わせて、普通科29,344人（41校に設置）、農業科671人（5校）、工業科1,807人（4校）、商業科1,812人（4校）、家庭科386人（3校）、看護科352人（1校）、情報科118人（1校）、福祉科111人（1校）、総合学科206人（1校）、その他の学科3,059人（9校）であった。

平成23年度間の帰国生徒は21人で、平成22年度間より8人増加した。  
外国人生徒数は106人で、前年度より6人減少した。全生徒数のうち、外国人生徒の占める割合は0.3%で、前年度と変わらなかった。

#### (3) 教員数（本務者） 「表7、図9、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

教員数（本務者）は2,646人（男1,842人、女804人）で、前年度より5人増加した。  
教員数（本務者）のうち、女性教員の占める割合は30.4%で、前年度より1.1ポイント上昇した。  
平成3年度の3,342人をピークに教員数（本務者）は減少しているが、平成19年度以降は横ばい傾向である。  
本務教員1人当たりの生徒数は14.3人（全国値14.1人）で、前年度より0.1ポイント減少した。

#### (4) 入学状況（本科） 「表10」

入学者定員は13,424人で、前年度より118人減少した。  
入学志願者は23,166人で、前年度より1,121人減少した。  
入学者は12,726人で、前年度より131人増加した。

※入学志願者

募集に応じて願書を提出した者。ただし、同一学校で2以上の課程又は学科へ志願することが認められている場合は、実際に入学した課程又は学科に計上し、いずれの課程又は学科にも入学しなかった場合は、第一志望の課程又は学科に計上した。

表7. 学校数・生徒数・教員数（本務者）

区分	学校数				生徒数					教員数（本務者）		
	計 (校)	国立 (校)	公立 (校)	私立 (校)	計 (人)	男 (人)	女 (人)	全日制 (人)	定時制 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)
平成14年度	64	-	48	16	43,477	21,745	21,732	42,270	1,207	2,955	2,166	789
平成19年度	55	-	40	15	38,137	19,428	18,709	36,942	1,195	2,647	1,909	738
平成20年度	56	-	41	15	38,237	19,481	18,756	36,948	1,289	2,647	1,903	744
平成21年度	53	-	37	16	38,016	19,397	18,619	36,642	1,374	2,654	1,887	767
平成22年度	53	-	37	16	38,396	19,494	18,902	36,983	1,413	2,641	1,883	758
平成23年度	53	-	37	16	37,903	19,221	18,682	36,552	1,351	2,641	1,866	775
<b>平成24年度</b>	<b>53</b>	<b>-</b>	<b>37</b>	<b>16</b>	<b>37,866</b>	<b>19,228</b>	<b>18,638</b>	<b>36,549</b>	<b>1,317</b>	<b>2,646</b>	<b>1,842</b>	<b>804</b>

※平成19年度より高等学校専攻科を含む

表 8. 学科別生徒数 (全日制)

区分	「全日制」学科別生徒数(人)										合計	
	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	看護科	情報科	福祉科	その他	総合学科		
平成14年度	34,341	648	2,300	2,259	687	332	...	...	1,396	307	42,270	
平成19年度	28,383	665	1,783	1,832	409	272	120	117	3,066	295	36,942	
平成20年度	28,605	616	1,667	1,790	378	303	116	106	3,133	234	36,948	
平成21年度	28,463	567	1,718	1,754	349	285	115	103	3,053	235	36,642	
平成22年度	28,722	576	1,721	1,762	346	313	119	105	3,086	233	36,983	
平成23年度	28,301	583	1,713	1,761	344	336	119	114	3,063	218	36,552	
平成24年度	計	28,276	596	1,728	1,756	347	352	118	111	3,059	206	36,549
	男	14,272	320	1,600	632	38	-	67	25	1,391	125	18,470
	女	14,004	276	128	1,124	309	352	51	86	1,668	81	18,079

※ ①「看護科」には、高等学校専攻科が含まれる(19年度より)  
 ②「情報科」、「福祉科」は、平成15年度調査から設定された。  
 ③「その他」:「その他の専門教育を施す学科」のことで、外国語、音楽・美術、体育関係などが含まれる。

表 9. 学科別生徒数 (定時制)

区分	「定時制」学科別生徒数(人)									合計
	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	福祉科	看護科	その他		
平成14年度	747	95	112	97	60	...	-	96	1,207	
平成19年度	727	92	113	92	43	128	-	-	1,195	
平成20年度	898	81	87	77	42	104	-	-	1,289	
平成21年度	1,039	73	83	65	41	73	-	-	1,374	
平成22年度	1,105	73	85	68	45	37	-	-	1,413	
平成23年度	1,098	74	71	51	45	12	-	-	1,351	
平成24年度	計	1,068	75	79	56	39	-	-	-	1,317
	男	593	64	78	22	1	-	-	-	758
	女	475	11	1	34	38	-	-	-	559

※「福祉科」は15年度調査から設定された。

図 9. 本務教員 1 人当たりの生徒数 (全国との比較)

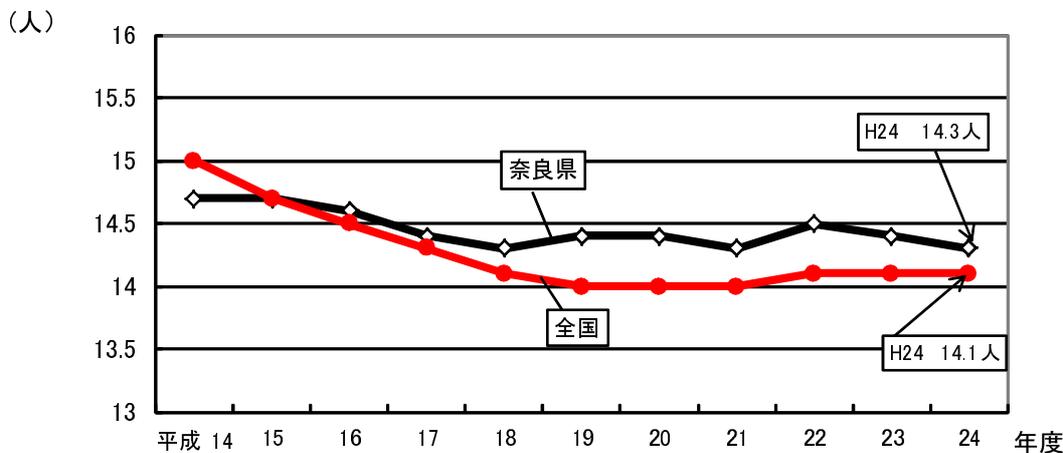


表 10. 入学状況

区分	入学定員		入学志願者		入学者					
	全日制	定時制	全日制	定時制	全日制		定時制			
					うち県外所在 中学校等卒業生	うち過年度 中学校等卒業生	うち県外所在 中学校等卒業生	うち過年度 中学校等卒業生		
平成14年度	15,007	508	28,127	550	14,252	1,015	65	371	132	58
平成19年度	13,091	441	25,421	466	12,630	896	23	354	140	32
平成20年度	13,059	586	24,845	640	12,617	882	16	449	128	85
平成21年度	12,923	550	24,606	585	12,400	816	30	461	130	69
平成22年度	13,180	550	25,618	584	12,827	864	37	444	135	66
平成23年度	12,992	550	23,751	536	12,178	768	29	417	120	64
平成24年度	12,874	550	22,682	484	12,340	780	27	386	105	59

※専攻科は含まない数値である。

## B. 通信制課程 ー生徒数は年々増加ー

- (1) 学校数 公立1校と私立1校で、前年度と変わらなかった。 [表 11]  
 (2) 生徒数 3,256人(男1,209人、女2,047人)で、前年度より378人増加した。 [表 11]  
 (3) 教員数(本務者) 77人(男36人、女41人)で、前年度より12人増加した。 [表 11]

表 11. 通信制高等学校の校数・生徒数・教員数

年度	学校数			生徒数			教員数(本務者)		
	計	公立	私立	計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)
平成14年度	1	1	-	505	264	241	10	9	1
平成19年度	1	1	-	585	291	294	11	10	1
平成20年度	1	1	-	640	313	327	10	9	1
平成21年度	2	1	1	808	359	449	43	26	17
平成22年度	2	1	1	2,092	733	1,359	45	29	16
平成23年度	2	1	1	2,878	1,072	1,806	65	35	30
<b>平成24年度</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3,256</b>	<b>1,209</b>	<b>2,047</b>	<b>77</b>	<b>36</b>	<b>41</b>

## 5. 中等教育学校

### (1) 学校数 「表 12」

学校数は2校(国立1校、私立1校)で、前年度と変わらなかった。

### (2) 学級数・生徒数 「表 12、統計表〔6〕中等教育学校」

学級数は前期課程で17学級(単式学級17学級)で、前年度より1学級減少した。

生徒数は前期課程611人(男303人、女308人)、後期課程626人(男312人、女314人)で、前年度より前者で60人減少し、後者で48人増加した。

### (3) 教員数(本務者) 「表 12、統計表〔6〕中等教育学校」

教員数(本務者)は78人(男55人、女23人)で、前年度より3人減少した。

教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は29.5%で、前年度より2.6ポイント低下した。  
 本務教員1人当たりの生徒数は15.9人(全国値13.1人)で、前年度より0.5人増加した。

表 12. 学校数・生徒数・教員数

区分	学校数				生徒数(前期課程)			生徒数(後期課程)			教員数(本務者)		
	計 (校)	国立 (校)	公立 (校)	私立 (校)	計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)
平成14年度	1	1	-	-	363	181	182	365	179	186	47	28	19
平成19年度	2	1	-	1	571	287	284	446	221	225	68	42	26
平成20年度	2	1	-	1	598	300	298	502	254	248	73	44	29
平成21年度	2	1	-	1	640	319	321	528	262	266	78	49	29
平成22年度	2	1	-	1	650	318	332	550	275	275	78	53	25
平成23年度	2	1	-	1	671	327	344	578	286	292	81	55	26
<b>平成24年度</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>1</b>	<b>611</b>	<b>303</b>	<b>308</b>	<b>626</b>	<b>312</b>	<b>314</b>	<b>78</b>	<b>55</b>	<b>23</b>

## 6. 特別支援学校 —在学者数の増加傾向続く 特に高等部で顕著—

### (1) 学校数 「表 13」

学校数は11校（公立11校）で、前年度と変わらなかった。

### (2) 学級数・在学者数 「表 13、図 10、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

学級数は439学級で、前年度より1学級減少した。

在学者数は1,512人（男990人、女522人）で、前年度より32人（2.2%）増加し、平成18年度以降、増加が続いている。特に高等部では顕著で、前年度より44人（6.4%）増加した。

障害種類別在学者数は、その他（重複障害）が784人（構成比51.9%）と最も多く、知的障害が571人（同37.8%）、聴覚障害が95人（同6.3%）、視覚障害が41人（同2.7%）、病弱・身体虚弱が12人（同0.8%）、肢体不自由が9人（同0.6%）であった。

※ その他（重複障害）とは、視覚障害、聴覚障害、知的障害、病弱・身体虚弱、肢体不自由の各障害のうち2つ以上の障害を有する者をいう。

### (3) 教員数（本務者）「表 13、図 11、累年データ（在学者数・本務教員数の推移）」

教員数（本務者）は924人（男353人、女571人）で、前年度より30人増加した。平成18年度以降、増加傾向が著しくなっている。

本務教員1人当たりの生徒数は1.6人（全国値1.7人）で、前年度より0.1人減少した。

表 13. 学校数・学級数・在学者数・教員数（本務者）

区分	学校数 (校)	学級数 計 (学級)	在学者数			教員数（本務者）		
			計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)
平成14年度	11	308	962	579	383	656	271	385
平成19年度	11	352	1,137	735	402	740	303	437
平成20年度	12	379	1,234	800	434	783	312	471
平成21年度	12	399	1,322	865	457	835	323	512
平成22年度	12	424	1,420	916	504	879	351	528
平成23年度	11	440	1,480	956	524	894	357	537
<b>平成24年度</b>	<b>11</b>	<b>439</b>	<b>1,512</b>	<b>990</b>	<b>522</b>	<b>924</b>	<b>353</b>	<b>571</b>

※ 平成18年度までは、盲・ろう・養護学校の合計値。

図 10. 障害種類別在学者割合

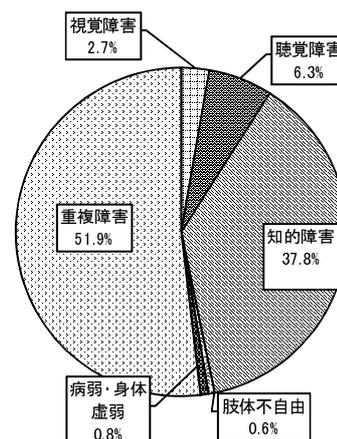
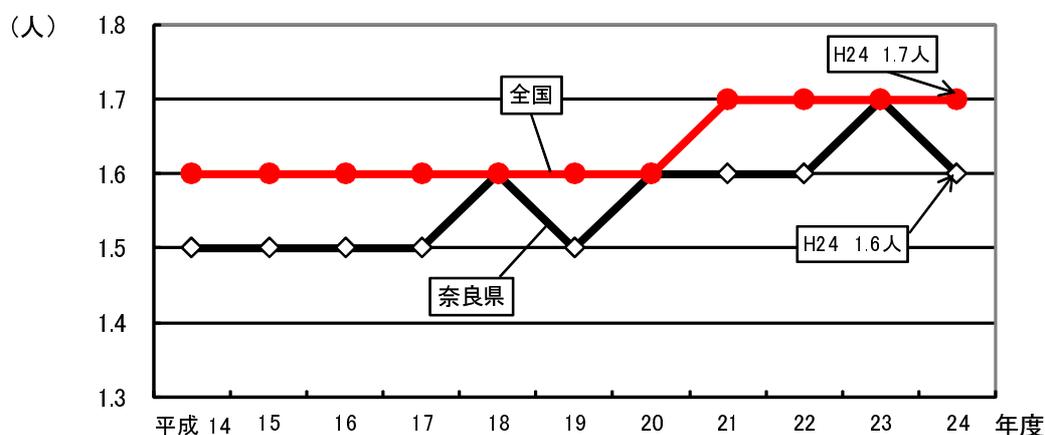


図 11. 本務教員1人当たりの生徒数（全国との比較）



※ 平成18年度までは、盲・ろう・養護学校の合計値。

## 7. 専修学校 ー生徒数は前年度より減少 医療関係の割合が高いー

### (1) 学校数 「表 14」

学校数は41校（公立4校、私立37校）で、前年度と変わらなかった。  
 類型別にみると、高等課程を置く学校は9校、専門課程を置く学校は32校であった。

- ※・高等課程：中学校を卒業した者を前提とし、それと同等以上の学力があると認められた者を入学資格とする課程
- ・専門課程：高等学校を卒業した者を前提とし、それに準ずる学力があると認められた者を入学資格とする課程
- ・一般課程：特に入学資格を定めない課程

### (2) 生徒数 「表 14、図 12、統計表〔8〕専修学校」

生徒数は3,163人（男891人、女2,272人）で、前年度より67人減少した。  
 課程別では、高等課程は503人（構成比15.9%）、専門課程は2,504人（同79.2%）、一般課程は156人（同4.9%）であった。

分野別では、医療関係の2,027人（構成比64.1%）が最多で、次いで文化・教養関係の332人（同10.5%）、服飾・家政関係の282人（同8.9%）、教育・社会福祉関係の190人（同6.0%）の順となっている。  
 全国との比較では、本県は医療関係の割合が高い（全国値33.1%）一方で、文化・教養関係の割合は低くなっている。（全国値21.5%）

### (3) 教員数（本務者） 「表 14」

教員数（本務者）は287人で、前年度より1人増加した。

### (4) 入学者・卒業者数 「表 15、統計表〔8〕専修学校」

平成24年春期の入学者数は1,142人（男331人、女811人）で、前年度より119人減少した。  
 平成23年度間の卒業者数は1,069人（男314人、女755人）で、平成22年度間より33人減少した。

表 14. 生徒数・教員数の推移

区分	学校数				課程別生徒数				教員数 (本務者) (人)
	計 (校)	国立 (校)	公立 (校)	私立 (校)	計 (人)	高等課程 (人)	専門課程 (人)	一般課程 (人)	
平成14年度	48	2	4	42	4,606	966	3,304	336	335
平成19年度	42	-	4	38	3,612	645	2,708	259	305
平成20年度	42	-	4	38	3,382	636	2,543	203	295
平成21年度	42	-	4	38	3,301	625	2,519	157	304
平成22年度	42	-	4	38	3,178	578	2,494	106	306
平成23年度	41	-	4	37	3,230	546	2,526	158	286
<b>平成24年度</b>	<b>41</b>	<b>-</b>	<b>4</b>	<b>37</b>	<b>3,163</b>	<b>503</b>	<b>2,504</b>	<b>156</b>	<b>287</b>

#### ※ 専修学校・各種学校の学科・課程の分野

- 医療：看護、歯科衛生、理学・作業療法、臨床検査等
- 衛生：調理、理容、美容、製菓等
- 服飾・家政（各種学校は家政）：和洋裁、料理等
- 教育・社会福祉：保育士養成、介護福祉等
- 商業実務：経理・簿記、秘書、珠算等
- 工業：情報処理、電子計算機等
- 文化・教養：美術、デザイン、受験・補習（専修学校のみ）、外国語、法律行政等

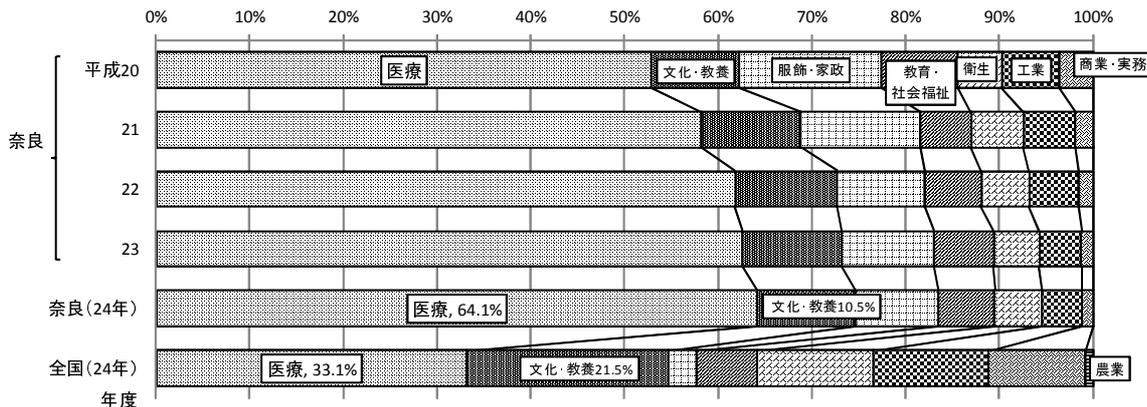
（各種学校のみにある課程）

- 予備校
- 学習・補習
- 自動車操縦
- 外国人学校
- その他

表 15. 専修学校 入学状況

区分	入学定員				入学志願者				入学者数			
	計 (人)	高等課程 (人)	専門課程 (人)	一般課程 (人)	計 (人)	高等課程 (人)	専門課程 (人)	一般課程 (人)	計 (人)	高等課程 (人)	専門課程 (人)	一般課程 (人)
平成14年度	4,007	780	2,507	720	3,686	700	2,881	105	1,861	357	1,399	105
平成19年度	3,886	660	2,506	720	2,545	415	1,988	142	1,441	228	1,071	142
平成20年度	3,719	700	2,299	720	2,143	397	1,637	109	1,328	235	984	109
平成21年度	3,489	540	2,229	720	2,286	410	1,821	55	1,308	243	1,010	55
平成22年度	3,734	540	2,454	740	2,652	408	2,219	25	1,268	208	1,035	25
平成23年度	3,559	540	2,279	740	3,188	490	2,635	63	1,261	196	1,002	63
<b>平成24年度</b>	<b>3,580</b>	<b>540</b>	<b>2,300</b>	<b>740</b>	<b>2,829</b>	<b>456</b>	<b>2,308</b>	<b>65</b>	<b>1,142</b>	<b>172</b>	<b>905</b>	<b>65</b>

図 12. 専修学校 分野別生徒割合 (%)



## 8. 各種学校 ー生徒数は引き続き減少 生徒の多くは自動車操縦関係ー

### (1) 学校数 「表 16」

学校数は 37 校（私立 37 校）で、前年度と変わらなかった。

### (2) 生徒数 「表 16、図 13 、統計表〔9〕各種学校」

生徒数は 3,337 人（男 1,488 人、女 1,849 人）で、前年度より 235 人減少した。

就業年限別にみると、1 年未満の課程は 2,557 人（構成比 76.6 %）で、1 年以上の課程は 780 人（同 23.4 %）であった。

分野別にみると、自動車操縦関係の 2,184 人（構成比 65.4 %）が最多で、次いで商業実務関係（珠算等）の 633 人（同 19.0 %）、文化・教養関係の 282 人（同 8.5 %）の順となっている。

平成 23 年度間の卒業生数は 7,685 人（男 3,872 人、女 3,813 人）で、平成 22 年度間より 224 人増加した。

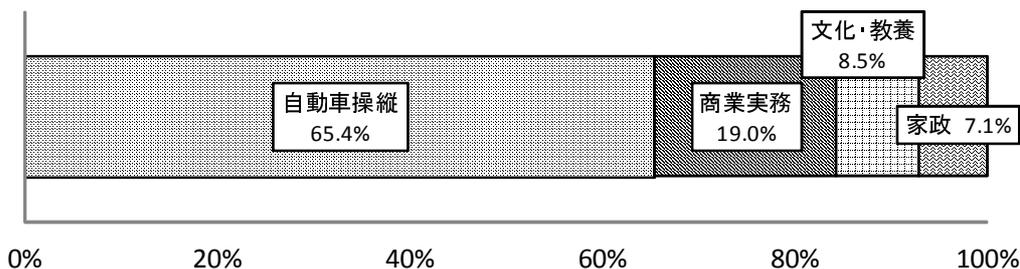
### (3) 教員数（本務者） 「表 16、統計表〔9〕各種学校」

教員数（本務者）は 238 人で、前年度より 5 人減少した。

表 16. 各種学校 分野別生徒割合 (%)

区分	学校数			生徒数					教員数 (本務者) (人)
	計 (校)	公立 (校)	私立 (校)	計 (人)	男 (人)	女 (人)	1年未満 の課程 (人)	1年以上 の課程 (人)	
平成14年度	49	1	48	5,969	2,884	3,085	4,805	1,164	357
平成19年度	40	-	40	4,127	1,999	2,128	3,225	902	284
平成20年度	40	-	40	3,954	1,908	2,046	3,031	923	268
平成21年度	38	-	38	3,755	1,726	2,029	2,911	844	259
平成22年度	37	-	37	3,865	1,825	2,040	2,997	868	246
平成23年度	37	-	37	3,572	1,566	2,006	2,725	847	243
平成24年度	37	-	37	3,337	1,488	1,849	2,557	780	238

図 13. 各種学校 分野別生徒割合 (%)



## [2] 卒業後の状況調査

### 1. 中学校 ー卒業者は前年より微増 高等学校等進学率は過去最高の 98.6 %にー

平成 24 年 3 月の卒業者は 13,749 人（男 7,170 人、女 6,579 人）で、前年度より 34 人増加した。

#### A. 進学者等

##### (1) 高等学校等進学者数 「表 17～18」

高等学校等進学者は 13,561 人（男 7,087 人、女 6,474 人）であった。

高等学校等進学率は 98.6 %、（男 98.8 %、女 98.4 %）であり、過去最高であった平成 21～23 年度より 0.2 ポイント上昇した。全国平均 98.3 %、奈良県は全国第 18 位であった。（前年度は 23 位）

##### (2) 専修学校その他進学者数 「表 17」

専修学校（高等課程）進学者は 63 人（男 33 人、女 30 人）で、前年度より 19 人減少した。

専修学校（一般課程）等入学者は 23 人（男 10 人、女 13 人）で、前年度より 5 人増加した。

公共職業能力開発施設等入学者は 1 人（男 1 人）で、前年度と同じであった。

#### B. 就職者 「表 17～18」

就職者総数は 24 人（男 14 人、女 10 人）で、前年度より 11 人減少した。

就職率は 0.2 %（男 0.2 %、女 0.2 %）で、前年度より 0.1 ポイント低下した。

表 17. 進路別卒業生数（中学校卒業生）

区分	卒業生計 (人)	A 高等学校 等進学者 (人)	B 専修学校 (高等課程) 進学者 (人)	C 専修学校 (一般課程) 等入学者 (人)	D 公共職業能 力開発施設 等入学者 (人)	就職者 (人)	左記以外 (人)	不詳・死亡 (人)	A, B, C, Dの うち就職 している 者（再掲） (人)	
平成14年3月	16,273	15,787	155	45	15	108	163	-	14	
平成19年3月	14,011	13,695	97	38	10	62	107	2	5	
平成20年3月	14,014	13,744	84	27	4	58	95	2	2	
平成21年3月	13,742	13,520	78	21	-	35	88	-	1	
平成22年3月	14,280	14,049	88	22	1	28	92	-	2	
平成23年3月	13,715	13,498	82	18	1	34	81	1	1	
平成24年 3月	計	13,749	13,561	63	23	1	24	76	1	-
	男	7,170	7,087	33	10	1	14	24	1	-
	女	6,579	6,474	30	13	-	10	52	-	-

表 18. 高等学校等進学率・就職率（中学校卒業生）

区分	高等学校等進学率 (%)		就職率 (%)		
	(奈良県)	(全国)	(奈良県)	(全国)	
平成14年3月	97.0	97.0	0.7	0.9	
平成19年3月	97.7	97.7	0.5	0.7	
平成20年3月	98.1	97.8	0.4	0.7	
平成21年3月	98.4	97.9	0.3	0.5	
平成22年3月	98.4	98.0	0.2	0.4	
平成23年3月	98.4	98.2	0.3	0.4	
平成24年 3月	計	98.6	98.3	0.2	0.4
	男	98.8	98.0	0.2	0.6
	女	98.4	98.6	0.2	0.2

## 2. 高等学校（全日制課程・定時制課程）

－大学等進学率は再び増加に、就職者は減少し県内就職率低下－

- 平成24年3月の卒業生（専攻科は含まない）は11,928人（男6,058人、女5,870人）で、前年度より239人減少した。

### A. 進学者等

#### （1）大学等進学者数 「表19～23、図14」

大学等進学者は7,003人（男3,393人、女3,610人）であった。

大学等進学者のうち、大学（学部）への進学者は6,193人（男3,329人、女2,864人）で、前年度より24人減少した。短期大学（本科）への進学者は763人（男61人、女702人）で、前年度より37人減少した。

その他の進学者は47人（男3人、女44人）で、前年度より8人減少した。

大学等進学率は58.7%で、前年（58.1%）より0.6ポイント上昇し、全国平均（53.5%）に比べ高い水準にあり、全国第6位である。男女別にみると、男は56.0%、女は61.5%で、前年度より男は0.2ポイント低下し、女は1.3ポイント上昇した。

学科別に大学等進学者数をみると、普通科5,975人、その他の学科587人、商業科217人の順に多く、学科別の大学等進学率は、看護科92.2%、普通科64.0%、その他の学科59.8%の順に高くなっている。

#### （2）専修学校その他進学者数 「表19」

専修学校（専門課程）進学者は1,787人（男700人、女1,087人）で、前年度より44人増加した。

専修学校（一般課程）等入学者は894人（男642人、女252人）で、前年度より66人減少した。

公共職業能力開発施設等入学者は21人（男17人、女4人）で、前年より7人増加した。

表19. 進路別卒業生数（高等学校卒業生）

区分	卒業生計 (人)	A 大学等 進学者 (人)	B 専修学校 (専門課程) 進学者 (人)	C 専修学校 (一般課程) 等入学者 (人)	D 公共職業能 力開発施設 等入学者 (人)	就職者 (人)	左記以外 (人)	不詳・死亡 (人)	A, B, C, Dのうち 就職している 者 (再掲) (人)	
平成14年3月	14,722	7,848	2,087	1,671	23	1,608	1,480	5	11	
平成19年3月	12,983	7,261	1,869	1,086	17	1,522	1,228	-	8	
平成20年3月	12,068	6,943	1,349	1,016	15	1,511	1,233	1	3	
平成21年3月	12,123	7,125	1,428	1,359	8	1,441	762	-	8	
平成22年3月	12,063	7,219	1,489	1,243	16	1,261	829	6	2	
平成23年3月	12,167	7,072	1,743	960	14	1,337	1,034	7	3	
平成24年 3月	計	11,928	7,003	1,787	894	21	1,230	992	1	1
	男	6,058	3,393	700	642	17	754	551	1	-
	女	5,870	3,610	1,087	252	4	476	441	-	1

表20. 大学等進学率・就職率（全国との比較）

区分	大学等進学率 (%)		就職率 (%)		
	(奈良県)	(全国)	(奈良県)	(全国)	
平成14年3月	53.3	44.8	11.0	17.1	
平成19年3月	55.9	51.2	11.8	18.5	
平成20年3月	57.5	52.8	12.5	19.0	
平成21年3月	58.8	53.9	12.0	18.2	
平成22年3月	59.8	54.3	10.5	15.8	
平成23年3月	58.1	53.9	11.0	16.3	
平成24年 3月	計	58.7	53.5	10.3	16.8
	男	56.0	51.5	12.4	20.0
	女	61.5	55.5	8.1	13.6

表 21. 大学等進学者数

区分	計			大学 (学部)			短期大学 (本科)			その他		
	計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	男 (人)	女 (人)
平成14年 3月	7,848	3,751	4,097	6,257	3,612	2,645	1,577	137	1,440	14	2	12
平成19年 3月	7,261	3,543	3,718	6,141	3,454	2,687	1,060	85	975	60	4	56
平成20年 3月	6,943	3,403	3,540	5,967	3,346	2,621	921	56	865	55	1	54
平成21年 3月	7,125	3,477	3,648	6,164	3,414	2,750	915	58	857	46	5	41
平成22年 3月	7,219	3,567	3,652	6,308	3,506	2,802	847	60	787	64	1	63
平成23年 3月	7,072	3,484	3,588	6,217	3,421	2,796	800	62	738	55	1	54
平成24年 3月	<b>7,003</b>	<b>3,393</b>	<b>3,610</b>	<b>6,193</b>	<b>3,329</b>	<b>2,864</b>	<b>763</b>	<b>61</b>	<b>702</b>	<b>47</b>	<b>3</b>	<b>44</b>

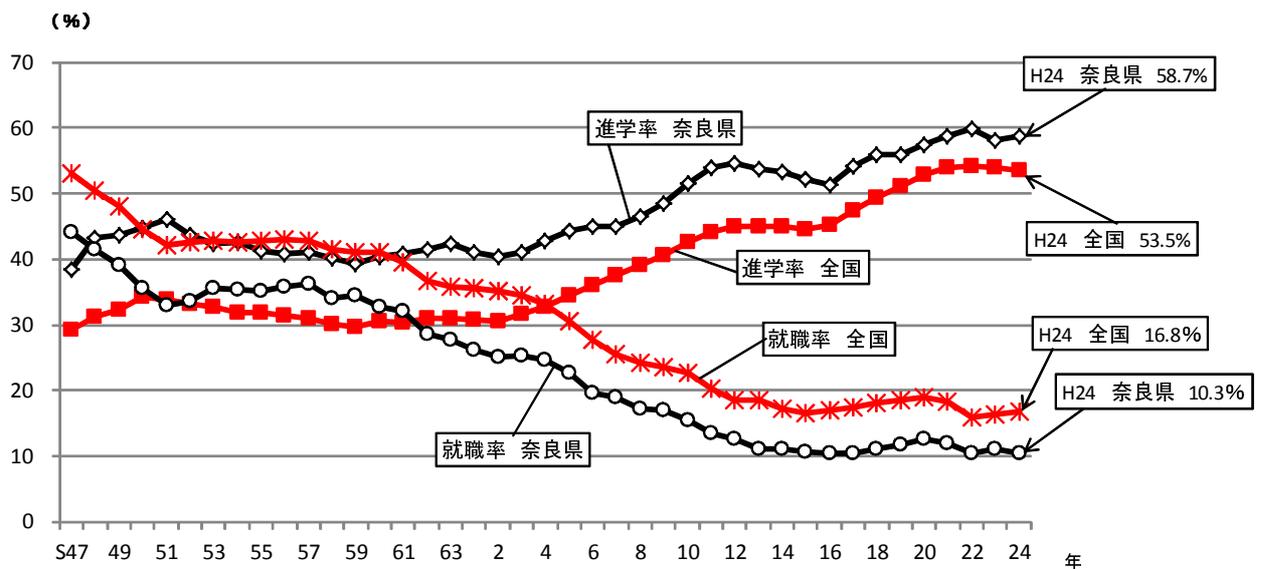
表 22. 高等学校学科別の大学等進学者数

学科	卒業者数 (人)	大学等進学者数 (人)	大学等進学率 (%)
普通科	9,339	5,975	64.0
農業科	177	23	13.0
工業科	529	92	17.4
商業科	581	217	37.3
家庭科	115	26	22.6
看護科	51	47	92.2
情報科	38	15	39.5
福祉科	48	10	20.8
総合学科	69	11	15.9
その他の学科	981	587	59.8

表 23. 都道府県別大学等進学率 (上位10都道府県)

順位	都道府県名	進学率 (%)
1	京都	66.4
2	東京	65.7
3	神奈川	60.6
4	兵庫	60.018
5	広島	60.016
6	奈良	58.7
7	愛知	58.5
8	大阪	58.1
9	滋賀	57.3
10	埼玉	57.0

図 14. 大学等進学率・就職率の推移 (全国との比較)



## B. 就職者

### (1) 就職者数 「表 20、表 24 、図 14～17 」

就職者総数は1,231人（男754人、女477人）で、前年度より109人減少した。

就職者を産業別にみると、製造業が501人（構成比40.7%）で最も多く、次いで医療、福祉が142人（同11.5%）、卸売業、小売業93人（同7.6%）、生活関連サービス、娯楽業84人（同6.8%）の順となっている。また、全国と比較すると、医療、福祉（奈良11.5%、全国9.0%）、生活関連サービス、娯楽業（奈良6.8%、全国4.8%）の割合が高い。一方、建設業（奈良5.2%、全国7.8%）、卸売業、小売業（奈良7.6%、全国10.5%）の割合は低くなっている。

就職率は10.3%（男12.4%、女8.1%）で、前年度より0.7ポイント低下した。都道府県別では、青森県31.4%、佐賀県31.1%、宮崎県29.7%の順に高く、また、東京都5.6%、神奈川県7.4%、京都府8.3%の順に低く、奈良県は44位（前年43位）であった。

県内で就職した者の割合は、全体では66.0%であり、前年度より6.2ポイント低下した〔全国平均81.4%、奈良県は全国で第37位（前年も同位）〕。また、県内就職者比率は、産業種別によって大きく異なり、複合サービス事業では100.0%、医療、福祉で86.6%、生活関連サービス、娯楽業では79.8%と高く、その一方で教育・学習支援業で25.0%、運輸業、郵便業では、29.6%、電気・ガス・熱供給・水道事業で31.3%と低くなっている。

県外に就職した者は419人（全体の34.0%）であるが、その就職先都道府県の内訳は、大阪府が58.5%と過半数を占め、次いで三重県10.5%、京都府8.6%の順に高くなっている。

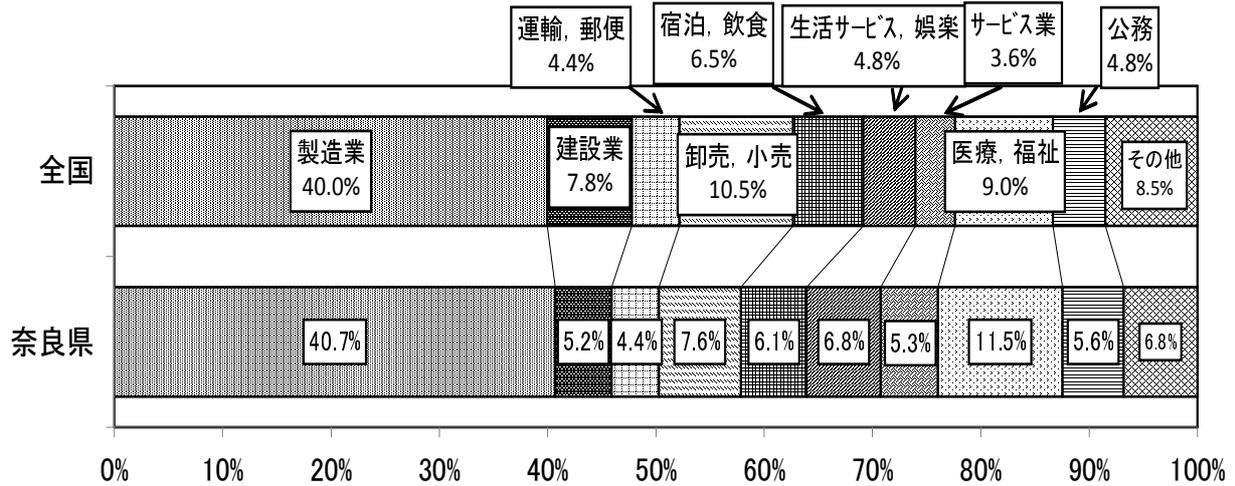
表 24. 産業別就職者数

区分		就職者総数		
		計	男	女
第一次産業	農業、林業	3	2	1
	漁業	-	-	-
	小計	3	2	1
第二次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-
	建設業	64	56	8
	製造業	501	394	107
	小計	565	450	115
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	16	14	2
	情報通信業	6	1	5
	運輸業、郵便業	54	41	13
	卸売業、小売業	93	32	61
	金融業、保険業	6	1	5
	不動産業、物品賃貸業	2	1	1
	学術研究、専門・技術サービス業	21	11	10
	宿泊業、飲食サービス業	75	29	46
	生活関連サービス業、娯楽業	84	25	59
	教育、学習支援業	4	2	2
	医療、福祉	142	34	108
	複合サービス事業	11	6	5
	サービス業（他に分類されないもの）	65	37	28
	公務（他に分類されるものを除く）	69	59	10
	小計	648	293	355
分類不能の産業		15	9	6
<b>総計</b>		<b>1,231</b>	<b>754</b>	<b>477</b>

※表24における就職者の産業分類について（補足）

- 生活関連サービス、娯楽業      洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業  
娯楽業
- 複合サービス業                      郵便局、協同組合（他に分類されないもの）
- サービス業  
（他に分類されないもの）      廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者  
派遣業等、その他の事業サービス業、政治・経済・文化団体、  
宗教、その他のサービス業、外国公務

図 15. 産業別就職者割合（全国との比較）



※産業分類区分名はスペースの関係で一部は略称で表示

※図15において「その他」に含まれる産業分類区分

表24の区分のうち  
 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、教育、学習支援業、複合サービス事業および分類不能の産業の合計

図 16. 産業別就職者の県内・県外の割合（高等学校卒業生）

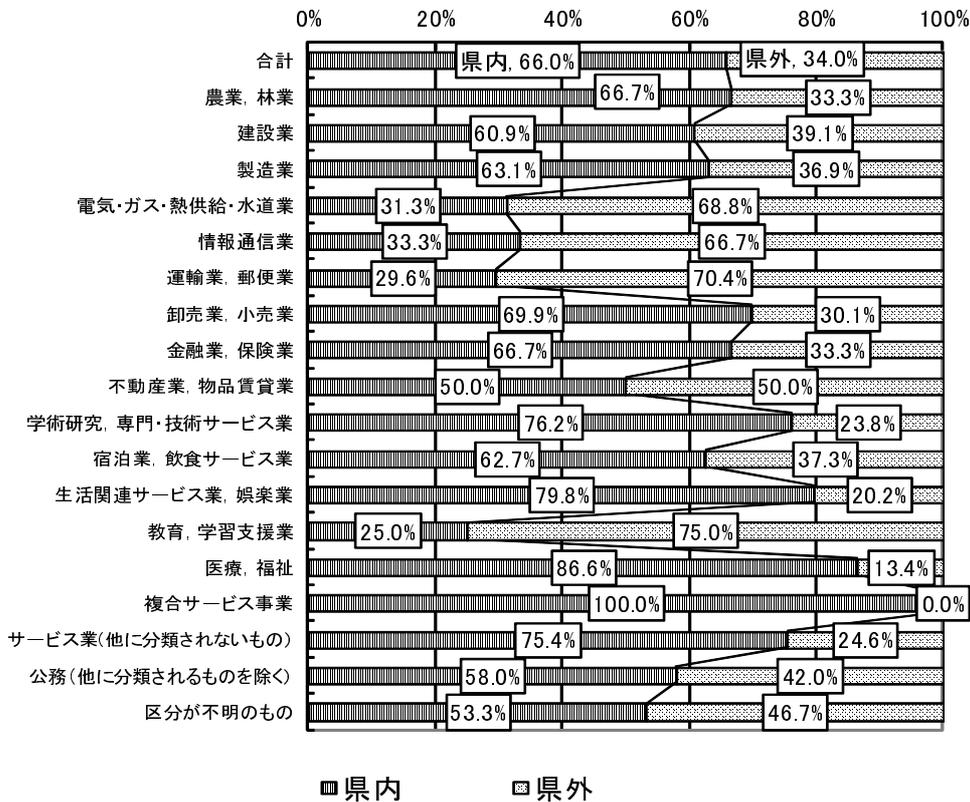
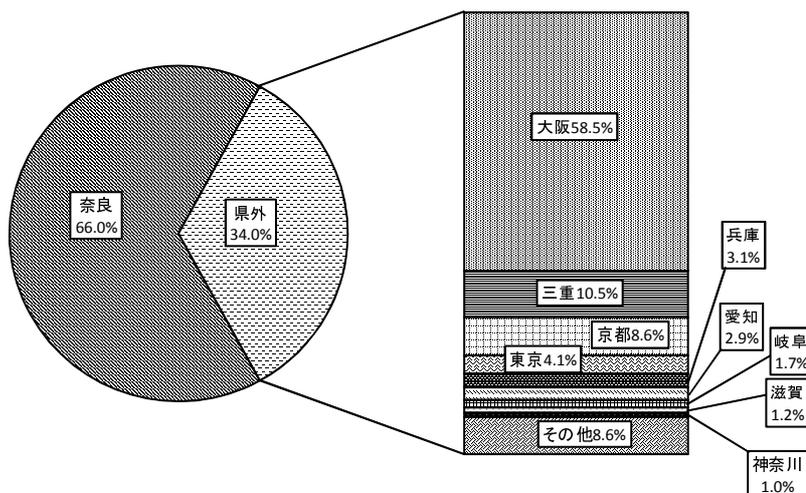


図 17. 就職者の就職先都道府県構成比率（高等学校卒業生）



### 3. 特別支援学校

#### A. 中学部

「表 25」

- ・平成 24 年 3 月の卒業生は 119 人（男 82 人、女 37）人で、前年度より 6 人増加した。
- ・高等学校等進学者は 117 人（男 80 人、女 37 人）であった。
- ・高等学校進学率は 98.3 %（男 97.6 %、女 100 %）であり、前年より 1.7 ポイント低下した。

表 25. 特別支援学校（中学部）卒業生の進路別卒業生数

区 分	計 (人)	A 高等学校 等進学者 (人)	B 専修学校 (高等課程) 入学者 (人)	C 専修学校 (一般課程) 入学者 (人)	D 公共職業 能力開発 施設等 入学者 (人)	E 就職者 (人)	F 左記以 外の者 (人)	左記Aの うち他県 進学者 (再掲) (人)	高等 学校等 進学率 (%)	就職率 (%)
		平成23年3月	113	113	-	-	-	-	-	2
平成24年3月	計	119	117	1	-	-	-	1	98.3	-
	男	82	80	1	-	-	-	1	97.6	-
	女	37	37	-	-	-	-	-	100.0	-

#### B. 高等部

「表 26」

- ・平成 24 年 3 月の卒業生は、210 人（男 139 人、女 71 人）で前年より 20 人増加した。
- ・大学等進学者は、4 人（男 3 人、女 1 人）であった。
- ・大学等進学率は、1.9 %（男 2.2 %、女 1.4 %）であり、前年より 1.3 ポイント低下した。
- ・就職者総数は、44 人（男 28 人、女 16 人）で、前年より 12 人減少した。
- ・就職率は、21.0 %（男 20.1 %、女 22.5 %）であり、前年より 8.5 ポイント低下した。

表 26. 特別支援学校（高等部）卒業生の進路別卒業生数

区 分	計 (人)	A 大学等 進学者 (人)	B 専修学校 (専門課程) 進学者 (人)	C 専修学校 (一般課程) 等入学者 (人)	D 公共職業 能力開発 施設等 入学者 (人)	E 就職者 (人)	F 左記以 外の者 (人)	左記Fのうち 社会福祉施設 等 入所通所 者 (再掲) (人)	大学等 進学率 (%)	就職率 (%)	
		平成23年3月	190	6	-	1	4	56	123	116	3.2
平成24年3月	計	210	4	-	-	9	44	153	147	1.9	21.0
	男	139	3	-	-	8	28	100	97	2.2	20.1
	女	71	1	-	-	1	16	53	50	1.4	22.5